

2018年3月吉日

## 1. School Management Review 教育委員会にみる理事会のカタチ

## 2-3. 学校法人インタビュー 教えて、事務長先生! ～第5回 後編～

## 4. コミュニケーションのツボ ～第12回 やっぱ笑顔が一番!～

No.48

School Management Review

### 教育委員会にみる理事会のカタチ

公立校には「教育委員会」が存在し、私学で言うところの「経営」の一端を担っています。その教育委員会に関する調査結果が文部科学省のHPに掲載されています。以下、特に気になるものを確認します。

#### ①教育委員会会議の開催回数

H28年度教育委員会会議の平均開催回数は、都道府県・指定都市で28.8回(H27年度:29.7回)、市町村で15.0回(同:15.5回)である。

会議の頻度は高ければ良いというものではありませんが、少なくとも、頻度を上げることによってその分だけ意見交換の機会は多くなりますから、意思決定の質が芳しくない場合には頻度アップを検討してもいいのかもしれない。

#### ②教育委員会会議の運営上の工夫

資料の事前配布や勉強会を実施し、教育委員会会議での議論をより活発にしていくことや、教育委員のリーダーシップを発揮していくことが期待される。

どうすればより良くなるか、と考えるところから工夫が生まれます。その意識と行動を忘れないようにしたいですね。

#### ③教育委員の研修

自教育委員会の教育委員への研修の開催状況は、都道府県・指定都市で年間7.1回(同:7.7回)、市町村で年間4.5回(同:4.7回)となっている。

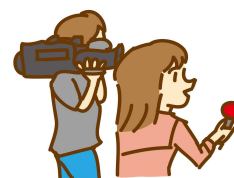
教育委員に対する研修は、視野を広げるための情報収集や知識を高める勉強をするためには必要なことだと思います。それは私学における理事も同様ではないでしょうか。

安定した学校運営を行うには管理運営機能の一層の充実を図ることが効果的です。私学においても理事に対して、学校側からの定期的な情報提供があれば、理事会の活性化が更に進むと思います。

私学の特質は「経営」、すなわち自ら理事会を設置し、自らの行動を決定し、律していくところにあります。今回の調査結果をぜひご参考になさってください。



# 教えて、事務長先生！（第5回・後編）



大好評の大型連載企画「教えて、事務長先生！」。

第5回は、関西学院千里国際キャンパスのルイス、スティーブンさんにお話をお伺いいたしました。

関西学院千里国際キャンパス  
キャンパス副長  
ルイス、スティーブンさん



## <Profile>

関西学院千里国際キャンパス

### ◆主な特色

- ✓ 関西学院千里国際中等部・高等部(SIS)と関西学院大阪インターナショナルスクール(OIS)が1つのキャンパスに併存
- ✓ 「5つのリスペクト」を尊重した自由な校風
- ✓ 学期完結制、無学年制など、独自のユニークな授業システムを展開

ーキャンパスの事務室には何名の職員さんが在籍されているのですか？

13名の職員が在籍しています。事務室に12名とカウンセリングセンターに1名です。

ー2つの学校が併存しているわけですから、事務の量はかなり多いのではないですか？

単純に2倍ではないですね。2.5倍くらいです（笑）  
関西学院千里国際中等部・高等部（以下SIS）は一条校で、関西学院大阪インターナショナルスクール（以下OIS）は各種学校に該当しますから、申請書類の提出先はもちろん異なります。また、学費体系や補助金の額も異なりますし、本当に何から何まで異なります。両方の学校のことをしっかりと理解しておかなければいけませんので、そのあたりではどうしても効率は悪くなってしまいますね。



明るくオープンな雰囲気の事務室



あちこちに開放的なスペースがあります

ー事務室の中で担当は分かれていますか？

いえ、分かれています。職員一人ひとりがそれぞれの学校の仕組みを理解して仕事を進めています。キャンパス全体で生徒数は800人程度ですから、一般的な学校と比較すると、職員数は多いですね。ただ、仕事の量と複雑さを考えると、決して多いとは言えません。

ー事務室には個別のブースもあって、一般的な日本の学校の事務室とは雰囲気が違いますね。

そうですね。事務室だけでなく職員室も特徴的なんです。というか、職員室がないんです。その代わりに職員ラウンジがあるんです。

先生方は普段、研究室か教室にいます。職員ラウンジではモーニングミーティングを両方の学校の先生が毎朝一緒になって実施するんです。

「two schools together」が本校のコンセプトになっていますので、学校は分かれています。両校は一体であるという信念を持っています。

—2つの学校を一つにまとめていくという上で、どのような点で難しさを感じますか？

本校の場合は、世界30か国以上から集まった生徒・保護者・教職員の多文化コミュニティですから、言葉や文化の壁が常にあります。そのような中で共通理解を求めることは非常に難しいですね。学内においても各々の解釈がそれぞれで違うことはよくあることですので、それを整理して、前向きに進めていくことには苦労します。

—御校ならではの悩みといったところですね。では、普段から心掛けておられることはありますか？

私の立場的には全体を見なければいけませんから、キャンパス中を歩き回っています。学校のあちこちで何をやっているのかを見たいですし、生徒と一緒にいくつかの企画も行っています。本校は積極的な生徒が多く在籍していますので、そんな生徒の様子を見て回ることは面白いです。仕事の楽しみの一つですね。

もちろん、先生方とのコミュニケーションも大切にしています。特にOISに入職する先生方は普通の生活のサポートも必要になりますから、事務室に座っていることがほとんどありませんね（笑）



今日もキャンパス中を歩き回るルイスさん



キャンパス内の廊下で調べもの中の生徒たち

—おっしゃるとおり、キャンパスの様子を見てみると、生徒のみなさんが活発でとてもイキイキとしていますね。

そうですね。学問だけではなく、部活動や学校行事などで色々なことを経験し、それらの経験を通じて多くのことを考えるというのが本校の方針ですから、それをしっかりと実践してくれています。

例えば部活動はシーズン制を採用しています。具体的には、1年を4つのシーズンに分けて、シーズン毎に異なるスポーツを行います。いろんな競技を経験することでそれぞれの良さを知ったり、自分がどのような競技に適正があるのかを知ったりすることができます。特定の競技の技術をもっと伸ばしたい場合には、外部のクラブチームに所属することもあります。

やり方はいろいろあると思いますが、楽しくやることが何より大事です。

—ありがとうございました。特徴があまりに多すぎてとにかく驚きの連続でした。最後に他校に皆さんにメッセージをお願いします。

日本の学生たちは本当に力がありますので、日本の教育でしっかりと伸ばして欲しいと思います。

**非常に特徴的な学校であることがゆえの運営面での難しさを抱えながらも、ルイスさんをはじめ、教職員の方々や生徒さんがとてもイキイキとされていたのが印象的でした。ルイスさん、お忙しい中、インタビューにご協力いただき、本当にありがとうございました！**

**(取材日:2017年10月5日)**

学校経営に関連する情報を好評発信中！

学校経営ブログ「寝ても覚めても学校のこと。」 <http://ysconsult.hatenablog.com/>

☆1月の閲覧数No.1記事は「私学助成金経営悪化や教育の質が低評価で減額」(2018年1月30日掲載)





組織の活性化を図る上で欠かすことのできないコミュニケーション。  
そんなコミュニケーションをより効果的なものにするためのちょっとしたツボをご紹介します。

## 第12回 やっぱり笑顔が一番！

「コミュニケーションのツボ」も今回が最終回となりました。いろいろとご紹介してきましたが、コミュニケーションで特に重要なものと言えばやっぱり笑顔です。

そこで、最終回は笑顔の重要性についてみていきましょう。

### ●笑顔は重要なコミュニケーションスキル

コミュニケーションには、バーバル・コミュニケーション(言語的コミュニケーション)とノンバーバル・コミュニケーション(非言語コミュニケーション)の2種類があることは以前にご紹介しましたが、今回のテーマである笑顔はノンバーバル・コミュニケーションの代表ともいえるものです。

普段、笑顔の意味を改めて考えることはあまりないかもしれませんが、相手に多くの情報を伝える、とても重要なコミュニケーションスキルです。

例えば、挨拶をされる時、相手に笑顔がなければどう感じるでしょうか？決して良い印象を受けないどころか、「今日は機嫌が悪いのかな？」や「なんか感じ悪いなあ・・・」といった印象を受けるのではないのでしょうか。

さらに、いつも笑顔がない場合には、相手に対して不信感や不安感を抱くことにもなりかねません。

コミュニケーションにおいて、笑顔を意識していない場合には、無意識のうちに相手に対して悪い印象を与えてしまっていることもあるかもしれませんので、日頃から笑顔をしっかりと意識しておく必要があります。

### ●自然な笑顔を作る3つのポイント

自然な笑顔は周囲の人を和ませ、話しかけやすい雰囲気を作り出します。コミュニケーションにおける笑顔の効用はとても大きいのですが、自然な笑顔を作るためのポイントは次の3つです。

- ✓上の歯を見せる
- ✓口角を上げる
- ✓目を細めて目じりを下げる

これらは1つでも欠けてしまうと不自然な笑顔になってしまいますので、まずは鏡の前でしっかりと練習してみましょう。

自然な笑顔はコミュニケーションを円滑にします。ぜひ実践してみてください。きっと良い効果がありますよ！



未来へつなぐ、夢がある。  
株式会社ワイズコンサルティング／ワイズ税理士・診断士事務所

TEL (06) 6484-7513 FAX (06) 6484-7518 E-mail: info@ysmc.co.jp  
URL: <http://www.ysmc.co.jp>(会社) <http://www.ystax.jp>(事務所)  
Facebookページ: <https://www.facebook.com/ysconsult>